

FANCT

旭川工業高等専門学校 学校だより“ファンクト”

平成29年6月発行

vol.128



入学式

Contents

特集

平成29年度の旭川高専

校長からのメッセージ

各副校長からのメッセージ

新学級担任からのメッセージ

新任教職員挨拶

在外研究を終えて

学生総合支援センターからのお知らせ

新入生合宿研修

平成29年度行事予定 (6月～10月)



校長 清水 啓一郎

現在、国立高等専門学校機構全体で、進めている教育改革の中の1つにアクティブラーニング（能動的学習）があります。学生が自ら進んで学ぶということですが、もう少し特別な意味を持っています。即ち、教員が全てを説明するのではなく、例えば、途中のプロセスをグループで考える、課題について討論する、グループ発表する等、学生自身が自ら考え発言するという要素を含んだ学習をアクティブラーニングとし、自ら考えることを重要視しています。

諸外国でも教育改革が進められています。北欧諸国は、1990年代前半に金融危機を経験したため、従来の教育から脱却して、リーダーシップを持ち世界で活躍できる人材を育てる「答えのない教育」即ち「考える教育」にシフトしました。従来の「教える」教育と「考える」教育の違いは何か？「教える」教育では、正解なら○、間違っていれば×です。しかし、「考える」教育では、○も×も無い。そもそも問いの立て方が違うので、複数答えがあっても良いし、目的によって議論の方向性も、答えも変わってきます。それをグループで討論するのが「考える」教育です。

「考える」教育の有効性を示す科学的根拠があります。人間の記憶率は、学習方法に大きく左右されます。講義での平均記憶率は5%、読むと10%、視聴覚教材を取り入れると20%、実験機材等を使うと30%。一方の「考える」教育では、グループ討論の平均記憶率が50%、体験型学習で75%、他人に教えると90%と科学的にも「考える」教育の優位性が証明されています。

これからの学修は知識量を問うのではなく、考え方を問う方向に転換されるということです。特に技術の世界の知識量は指数関数的に増大し、その全てを頭に入れることは到底不可能です。大切なことは論理的思考力であり、知識を如何に活用・応用するかは能力です。是非、皆さんも5W2H（When、Where、Who、What、Why、How to、How much）を使って論理的思考力を高めて下さい。



入学生代表 宣誓



学生会会長 歓迎のこたば



新入生



副校長(教務担当)
教務主事
三井 聡

夏期休業と試験

昨年に引き続き教務主事を務めることとなりました、システム制御情報工学科の三井です。

4月4日に入学式が行われ、168名が新1年生に、2名の留学生在が3年生に、18名が専攻科1年生に入学しました。本校教員は2名の新任教員が加わって合計60名になり、820名の本科生、専攻科生の教育・研究の指導を行います。

既にご存知かと思いますが、夏休みを以前の時期に戻しました。期間は短くなっています。また、試験は授業内実施をやめ、試験期間も設定しましたので、前後期とも15回の授業と2回の試験期間があります。涼しい時期に集中して試験に臨むことができるので、いい結果が出ることを期待しています。

学生の皆さんにお願いします。スマホ、ゲーム、SNS等に使う時間を減らして、それを勉強時間に費やしてください。

最後に、お子様の将来のためにも、我々教員団と保護者が一つになって教育・指導していかなくてはならないと思っています。皆様のご協力をお願いします。



副校長(学生担当)
学生主事
鈴木 智己

「学生指導が目指すこと」

本年も引き続き学生主事として学生指導を担当することとなりました。どうぞよろしくお願ひいたします。

社会規範に対する意識を高めること、一人の人としての長所を伸ばしたり改めるべき部分に目を向けさせたりすること、そしてより良い人間関係を築き上げる力を養うのが学生指導の目的と考え、問題のある行動

に対しては、毅然とした姿勢で対応します。

今年も目指すところはこれまでと同じです。「学校が学生にとって安心して過ごせる場所であること」が何よりも重要であると考えています。最近ではテレビの影響か、仲間を「いじる」ことが若者の文化であるかのような風潮が見受けられますが、それが度を超して「いじめ」になってしまうケースがあってはなりません。

春を迎えて屋外で活動するクラブにも活気が出てきました。今年も高体連、専体連、そして各種コンテストでの昨年以上の活躍を期待しています。元気な旭川高専生の活躍を今年も祈るとともに見守っていききたいと思います。



副校長(寮務担当)
寮務主事
古崎 睦

今年度の明誠寮は？

「安全・安心な生活・学習環境の提供」、これが我々に課せられた最大の使命ですが、昨年度、1年生を中心に寮生間のトラブルが多発し、それらが暴力やいじめ、器物損壊等にエスカレートした結果、最終的に7名の退寮者を出してしまいました。痛恨の極みです…。

今年度、「基本的生活習慣の確立」及び「集団生活のルール遵守」なる

継続的な指導方針の下、同様の事態が再び繰り返されることのないよういくつか手を打って新入寮生を迎えました。当面の2か月間、寮生達とよくコミュニケーションを取りながら、細やかに導入期を見守っていきたくと思っています。

もう一つの懸念材料は、定員超過となっている女子寮です(実員43名/定員35名)。如何ともし難い制約条件がいくつもありますが、女子寮生会と意見交換しながら知恵を出し合い、最適解を導き出していきたいと考えています。学生や保護者の皆さんにも、ご理解とご協力をお願いする機会が多々あるかと思いますが、どうぞよろしくお願ひ致します。



副校長(専攻科担当)
専攻科長
大島 功三

「進化する専攻科生」

昨年度に引き続き専攻科長を務めることとなりました電気情報工学科の大島です。どうぞよろしくお願ひ致します。今年度の専攻科は、1年生18人が入学し、合計35名の学生が在籍し、本科で培われた工学に関する知識・技術を発展させ、様々な分野で活躍できる総合的能力を備えた技術者になるべく勉強・研究に励んでおります。

学会などで大学院の先生から、大学院へ進学した専攻科修了生について褒められることがあります。高専では、本科で卒業研究、専攻科で特別研究と2回研究をまとめる機会があり、研究成果の学外発表も積極的に行うことにより学生の成長を促しています。また、エンジニアリングデザインにより課題解決能力、プレゼン能力などを向上させるとともに人間的にも成長して社会に出て行き、「色々なことにチャレンジし、充実していた」、「大変だったけど、専攻科に進学してよかった」などの声も聞かれます。

旭川高専という環境で、多くのことに挑戦し、教職員とともに専攻科を発展、進化させてくれることを期待しています。

「自分に負けない」—これは、入学式日の学科別保護者オリエンテーションと翌日のホームルームとでお知らせしお願いした、学校生活の心得です。

「人間とは、己の行った仕事の子供である」。これは、スペインの作家セルバンテス『ドン・キホーテ』の中の言葉です (Miguel de Cervantes Saavedra “Don Quixote”)。

1Mの皆さんが日々の高専生活をとおりて成長していくことを期待しています。

機械システム工学科1年学級担任
石本 裕之



自分の成長を信じて、一日一日の生活にしっかりと取り組みましょう。突き詰めると、この一言になります。

通学、授業、日直や掃除などクラスでの活動、クラブ活動、家庭や寮での学習、友人との会話、もちろん食事や夜の睡眠にも。何事にも懸命に取り組むこと、それら全てが皆さんの成長につながっていきます。

千里の道も一歩から。継続は力なり。結果が出るまで半年、一年と長い時間がかかるかもしれませんが。努力の積み重ねの後の飛躍を信じて、共に歩いていきましょう。

電気情報工学科1年学級担任 岡島 吉俊

1年

システム制御情報工学科1年学級担任 小西 卓哉

1年システム制御情報工学科担任の小西卓哉です。何事も無ければ2年間担任となりますのでよろしくお願いいたします。さて、無事に1泊2日の合宿研修も終え、(20人部屋が功を奏したのか?) クラス内の団結も構築されつつあります。合宿研修から帰校後のホームルームで「全員友達は理想だけど…難しいかもしれない。でも全員仲間になることは可能だよな。」と呼びかけてみました。44名がそれぞれ思いやりを持って助け合いながら成長していくことを願っています。

物質化学工学科1年学級担任
大澤 智子

入学式当日のキリッとした表情、対面式の日の緊張で疲れ切った表情、授業初日の生き生きとした表情、部活の見学や広い校舎の探検ではしゃいでいる姿、どれもが、期待に満ち満ちて楽しそうで安心しました。これからどんどん未知の世界に足を踏み入れていくと思いますが、自ら考え行動すると同時に、道に迷わないようクラスで協力し合い、切磋琢磨しながら、充実した学生生活を送っていきましょう。

3年

4年ぶり2回目の担任です。前回と同様、受け持つクラスは「機械系の学科らしく、バイタリティ溢れる喧しい、もとい元気でたくましい」クラスです。よって、波乱万丈な日々が待ち受けていそうですが、卒業までの3年間、彼らと苦楽を共にしていきたいと思えます (本音は苦楽ではなく楽楽)。まずは学生達と信頼関係をつくることから始めています。学生達の頑張りを支え、彼らが大きく成長できるよう尽力していきますので、保護者の皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

機械システム工学科3年学級担任
千葉 良一



担任は音楽の指揮者やボクシングのレフリーのようなものです。演奏あるいは試合の主役は学生さんです。願わくば、それぞれの学生さん達が楽しく充実した青春時代を送ってほしいと思います。

もちろん日々の勉強という基礎があるとのことですが。まあ、がんばりましょう。

電気情報工学科3年学級担任 有馬 達也

システム制御情報工学科3年学級担任 戸村 豊明

3年ぶり3回目の学級担任です。最初の学級は入学時から学科別、次の学級は混合学級導入後、今回の学級は学科改組後という点が相異なっています。前担任の沢谷先生による大変熱心なご指導のおかげで、今の3Sは少し大人しいものの落ち着いた感じの良い雰囲気醸し出しております。個人面談はまだ10人ほどしか終わっていませんが、今後も面談を継続して、一日も早く3Sの学生全員のキャラクタを知り、かつ長所を見つけていきたいと思えます。

物質化学工学科3年学級担任
堺井 亮介

高専生活の折り返し地点となる第3学年は、卒業後の進路について考えはじめる大切な時期です。卒業後の進路や自分の将来について、ゆっくりと一緒に考えていきましょう。そして、皆

さんには希望する進路に進むことができるよう、学業面や生活面でほんの少しこれまでよりも頑張ってもらいたいと思います。皆さんが充実した学校生活を送り、たくさんの知識や技術、能力を身につけて本校を巣立っていけるよう全力でサポートしていきます。

機械システム工学科 千葉 良一

タイのバンコクにあるキングモンクット工科大学ラカバン校（以下、KMITL）に2016年の4月から一年間滞在し、機械工学科のPanya Kansuwan先生の研究室で分子動力学の研究をしてきました。金属を加熱した時の原子の振る舞いについて、コンピュータを使って調査しました。

大学のあるラカバン区はバンコクの外れにあるため、中心地と違って外国人はほとんどいません。よって、地元のタイ人も外国人慣れしておらず、しばらく好奇心で見られました。

KMITLの先生方と話す時だけ英語を使い、学生達や職員の方々とはタイ語でのコミュニケーション。大学を一步外に出ればタイ語しか通じません。（十数年ぶりの）独り暮らしということもあり、小心者の私は心身ともに疲れ果てました。

滞在期間中にタイ国王が崩御され、普段とは違う雰囲気の中での生活に戸惑いました。皆、黒い服を着て喪に服し、クリスマスや年末年始のイベントは中止、街の中は静寂に包まれ、どこもかしこもモノトーンになった街を見ることは、ある意味貴重な経験でした。

タクシーに乗車拒否されたり、ストローでペットボトル飲料を飲んだり、デパートの店員が接客そっちのけでスマホに夢中になっていたり、「常識とは何か」を考えさせられた一年でした。滞在期間中にお世話下さった皆様、特にPanya先生とその奥様（Sutapat先生）に感謝申し上げます。



お世話になったPanya先生と実験室で



修士課程の学生達とアユタヤを観光



学生総合支援センター長 後藤 孝行

学生総合支援センターは、「学生相談室」、「キャリア形成支援室」、「特別支援室」で構成されています。本年度から、本センター長は後藤孝行（機械システム工学科）が務めさせていただきます。

学生相談室の室長は私が兼任します。学生の個人的問題（修学上の悩み、心身の健康、いじめ、ハラスメント等）の相談を受けてその早期解決の手助けに取り組みます。キャリア形成支援室の室長は佐竹利文先生（システム制御情報工学科）です。学生の進路（就職・進学）に関する指導やキャリア形成支援に取り組みます。特別支援室の室長は教務主事である三井聡先生（システム制御情報工学科）です。発達障害者支援法に基づき、修学上に特別な配慮を必要とする学生のための学習環境の整備や支援に取り組みます。

学生及び保護者の皆様におかれましては、ご心配事等ございましたら、各室へご相談していただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い致します。

学生相談室開室日（平成29年度前期）

曜日	時間 ^{*1}	相談員	連絡先
月 ^{*2}	15:00～17:00	教職員相談員 後藤 孝行（機械システム工学科）	0166-55-8006（後藤） gotoh@asahikawa-nct.ac.jp
		教職員相談員 川江 修（技術創造部）	0166-55-8128（川江） kawae@asahikawa-nct.ac.jp
火	12:30～16:30	カウンセラー（臨床心理士） 石黒 三知子	0166-55-8146 ishiguro@asahikawa-nct.ac.jp
水	15:00～17:00	教職員相談員 小林 渡（物質化学工学科）	0166-55-8039 wataru@asahikawa-nct.ac.jp
木	13:30～17:30	カウンセラー（臨床心理士） 藤井 厚子	0166-55-8146 0166-22-8189（六条神経科） ishiguro@asahikawa-nct.ac.jp
金 ^{*2}	15:00～17:00	教職員相談員 沢谷 佑輔（一般人文科）	0166-55-8062 sawaya@asahikawa-nct.ac.jp
		教職員相談員 以後 直樹（システム制御情報工学科）	0166-55-8028 igo@asahikawa-nct.ac.jp
月～金	9:00～16:00	補助相談員 及川 久美子（看護師） ^{*3} 酒井 明奈（非常勤看護師） ^{*3}	0166-55-8145 oikawa@asahikawa-nct.ac.jp sakai_m@asahikawa-nct.ac.jp



- ※1 開室時間等については、休日・長期休業を除く。
- ※2 月曜日・金曜日は隔週交代になります。
- ※3 看護師は隣の医務室にあります。

各クラスの代表にインタビューしました

- ① 合宿研修を終えて
- ② 印象に残ったイベント
- ③ 今後の高専生活について
- ④ クラスの雰囲気について

インタビューは総務長の
物質化学工学科4年 小島菜緒

- ① これまで交流のなかった人達との絆が芽生えました。これからの学校生活でより絆を大きく芽吹かせていきたいと思います。
- ② マグカップの絵付けです。僕はマグカップに付和雷同と書きました。自分はまわりに流されやすいところがあるので、それを自制できるようになればと思っています。
- ③ ロボットラボラトリに所属して、高専の魅力の一つであるロボコンに参加したいと思います。この活動を通して、先輩方とも交流したいです。
- ④ 色々な個性があり面白いです。これからどのようにしていくのかとても楽しみです。



機械システム工学科1年
船島 弘匡

- ① 最初は行きたくないという気持ちもありましたが、今は来てよかったなと思えるくらい楽しかったです。
- ② クラス対抗ミニバレーと五色綱引きです。楽しかったし、クラスとして団結に一つ近づけたからです。
- ③ 日々の復習を怠らず、頑張っていきたいです。レポートにも全力で取り組みます。
- ④ 面白くて、元気が良くて、にぎやかで、すごくいいと思います。



電気情報工学科1年
大久保 永遠

- ① 自分は寮生なのですが、通学生ともいろいろと話すことができたので、友達が増えました。
- ② スポーツ活動全般です。みんなで作戦を考えて、声を出し、とても楽しくできたので良かったと思います。
- ③ まだ話せていない人もいるので、今後の体育大会や高専祭などのイベントや普段の学校生活を通して仲良くなり、楽しい高専生活にしたいと思っています。
- ④ まだみんな緊張があり、馴染めていないところもあったのですが、この合宿研修で仲良くなれたと思うので、今後は盛り上がりたかなと思います。



システム制御情報工学科1年
北島 雅基

- ① 今までばらばらだったクラスが一つになったなと感じました。
- ② 学科対抗のスポーツ活動です。特に五色綱引きが印象に残っています。このクラスは女子が多く、力は強くありません。負けはしましたが、全員で協力して2本の綱をとることができました。
- ③ 日々の予習や復習など進級に向けた勉強をしっかりとし、悔いのないようにしたいと思います。
- ④ 楽しそうで明るいクラスだと思います。今後は男女がもっと仲良くなればいいなと思います。



物質化学工学科1年
菅原 優樹

学生主事補から

担当学生主事補
吉田 雅紀

4月13日(木)、14日(金)の2日間、ネパール深川において新入生合宿研修が行われました。この研修には3つの目的があります。1つめは「高専生活の概要を理解する」であり、卒業生による講話や上級生による学科紹介、教員による学校生活オリエンテーションによって高専についての理解を深めました。2つめは「学生相互の理解および友情を深めるとともに、学生と教員の信頼関係を築く」であり、スポーツ活動や創作活動によって、学生同士あるいは学生と教員の間で相互を理解するきっかけができました。3つめは「必要なマナーを修得し、他人への思いやりの心を育む」であり、食事や入浴、同じ部屋での宿泊など、他人と時間を共有することによってマナーや思いやりについて考えることができました。この研修が高専生活のスタートを少しでも後押しできるよう願っています。

スポーツ活動：五色綱引き



学生会会長から

機械システム工学科4年
佐藤 和弥

「こんなにしっかりとしている1年生っているのだろうか、もしかしたら上の学年以上にしっかりとしているのでは」と感じた2日間でした。

今まで1・3・4年生の時にこの合宿研修に参加してきたのですが、スポーツ活動の時に喝を入れられなかったのは初めてです。決して静かな学年だったのではなく、盛り上がる時は盛り上がり話を聞くと聞きというしっかりとスイッチのオンオフが出来ていて、学生会や学科別のオリエンテーションなどでもメモをとる等、少し拙い面を見せたものの有りがたい限りでした。冗談を言ったものの誰も笑ってくれない位のオンの時の集中力、ミニバレーや綱引きなどで魅せる一致団結し盛り上げていく姿勢、素晴らしいものでした。

これからの高専生活はスタートしたばかりです。色んな人がいますが3修をせずに5年間過ごしていく人が多いと思います。この5年間は決して短くは有りませんが、過ごしていくと予想を上回る勢いで過ぎていきます。その中でどれほど充実した時間を過ごせるかは、この合宿で作られた友人との関係が全てではありませんが重要な部分を担っています。これからの高専生活を楽しんでください。

校歌練習



卒業生講話の様子



創作活動：マグカップ絵付け



スポーツ活動：玉入れ



スポーツ活動：ミニバレー

行事予定

平成29年度
6～10月

6月	2日(金)～8日(木)	前期中間試験(本科)
	10日(土)	平成30年度専攻科前期学力選抜試験
	15日(木)	薬物乱用防止講習会(本科5年)
	17日(土)	明誠寮祭
	22日(木)	進路に関する講演会(本科4年・専攻科1年)
	22日(木)～23日(金)	宿泊研修(本科2年)
	29日(木)	思春期講演会(本科2年)
7月	2日(日)	オープンキャンパス、北海道地区高等専門学校体育大会(陸上)
	8日(土)～9日(日)	北海道地区高等専門学校体育大会
	12日(水)～18日(火)	水原ハイテク高等学校交流事業(受入)
	13日(木)	第2回TOEIC IPテスト、防火訓練
	23日(日)	平成30年度本科編入学者選抜試験
	24日(月)～8月30日(水)	夏期休業(本科)
	29日(土)～30日(日)	体験入学
	8月	3日(木)～9月22日(金)
18日(金)～31日(木)		全国高等専門学校体育大会
23日(水)～29日(火)		水原ハイテク高等学校交流事業(派遣)
9月	7日(木)	第3回TOEIC IPテスト
	15日(金)～22日(金)	前期末試験(本科)
10月	7日(土)	北海道地区高等専門学校体育大会(ラグビー)
	8日(日)～9日(月)	全国高等専門学校プログラミングコンテスト
	13日(金)～15日(日)	高専祭
	14日(土)～15日(日)	保護者懇談会
	22日(日)	全国高等専門学校ロボットコンテスト北海道地区大会
	25日(水)～27日(金)	見学旅行(本科4年)

FANCT vol.128

「FANCT」…旭川高専を表す「ANCT」に「F」をつけて「Fun」（楽しい、愉快的）の音をつけました。旭川高専の楽しい情報を伝えること、また、読むのが楽しみな学校だよりになるよう名付けました。



独立行政法人国立高等専門学校機構

旭川工業高等専門学校

〒071-8142 北海道旭川市春光台2条2丁目1番6号

TEL 0166-55-8000 (代表)

FAX 0166-55-8082

<http://www.asahikawa-nct.ac.jp>

学校だよりに掲載されている記事・写真などは、学校だよりへの掲載目的以外の利用及び外部への提供は一切行いません。また、個人情報に関するお問い合わせは、上記担当までご連絡ください。掲載の記事・写真・イラストなどのコピー転写等の二次利用は固くお断りしております。

編集後記

平成29年度第1回目の「学校だよりFANCT」128号をお届けします。新入生の皆さんは、4月5日の入学式、翌日の手厚い(?)の対面式、そして新入生合宿研修と行事が続ぎ、ようやく落ち着いて学業に取り組める様になったのでは？ 在校生の皆さんは、気持ちを新たに今年度の第一歩を踏み出したことと思います。さらに、新留学生・インターンシップ学生及び新任教職員を迎え入れて今年度が始まりました。学生にとって高専生活は長くて厳しいようにも感じると思いますが、卒業後の自分の姿を想像して、今年も一年精一杯努力してくれることを願っております。今年度から、FANCTは全て本校ウェブページ上だけの紹介となりますので宜しくお願い致します。

学校広報WG 津田 勝幸